

# 非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉  
 〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
 TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033  
 URL・https://hikaku-osaka.jp/  
 E-mail・hikakuosaka@hotmail.com  
 hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp



第194号 2019年11月1日

## ニュース



▲サマルカンドのレジスタン広場

### 北東アジア平和と友好の旅 ウズベキスタンを訪ねて

# 旅の キーワードは棄民

を越える中央アジアの最大の都市だ。また世界で最も古い都市のひとつとして挙げられ、その歴史は紀元前にさかのぼることができる。シルクロードの中間点として栄えた町である。

今年度の北東アジア平和と友好の旅(日本コリア協会・日中友好協会・私学退職者の会が共催)は、9月末からウズベキスタンへの旅となった。ウズベキスタンは1991年に旧ソ連より独立した、中央アジアの有力国だ。国土の可耕地は9%に過ぎず、広大な砂漠地帯が広がる。内陸部ゆえに年間の、日々の寒暖の差は激しい。昼間40度近くになったかと思えば朝方には15度ぐらいまで下がる。

飛行機が付いた首都タシュケントは、旧ソ連の第4番目の人口規模を誇り、人口200万人を超える中央アジアの最大の都市だ。また世界で最も古い都市のひとつとして挙げられ、その歴史は紀元前にさかのぼることができる。シルクロードの中間点として栄えた町である。

今回3団体がウズベキスタンを旅先に選んだのは理由がある。昨年のサハリン(樺太)への旅に起因する。そこで出会ったのは日本の植民地支配よって連れてこられたコリアンたち。戦後彼らはその地に捨て置かれ、半世紀が過ぎようとする頃やつと祖国に帰ることが許された。また、敗戦を迎えた時、サハリンの地にいた日本兵は、敗戦を知らされずソ連軍とのし烈な戦闘の末、祖国の地を見ることなく屍と化した。まさに日本の軍部と政府の手によって「棄民・棄兵」が行われた。

実はウズベキスタンでも同様に「棄民・棄兵」が行われた。関東軍司令部に裏切られた日本兵は、ソ連兵が「トウキョウ・ダモイ」(東京へ帰還だ)というので「内地に戻れる」と思った。しかし、敗戦後の約2カ月の間に、シベリア、中央アジア、ヨーロッパロシア、極北・外モンゴルなど、約2000の収容所に移送された。シベリア

抑留だ。日本の関東軍参謀本部が、日本の捕虜をソ連軍の経営にお使いくださいという申し出をしていたことで、この「抑留」が生まれた。ウズベキスタンにも約2万5千人が送られ、その痕跡はナヴオイ劇場や数多くのダムに残っている。そのことを見て、学ぶことが一つの目的だ。

そしてもう一つの目的は、中央アジアに居住する数十万人のコリヨ人と呼ばれるコリアンに出会うことだ。彼らコリヨ人の「ロシア」移住150年以上になる。1863年、咸鏡道(ハムギョンド)の農民ら約60人が、豆満江(トウマングン)を渡りロシア・沿海州に入ったことにはじまるという。その後韓国併合、日本の植民地化によりソ連沿海州への移民がすすむ。スターリン時代の1937年、極東から中央アジアへ約17万人の第一陣の強制移住が行われた。着の身着のまま追われ、列車内で餓死・凍死した

コリヨ人も多数いた。ウズベキスタンで待っていたのは過酷な開拓だった。今日残るソ連の史料から明確な強制移住の理由は読み取れないが、日ソの緊張が高まる中、盛んな日本の諜報活動によって朝鮮人への不信感が増大。スターリンらソ連指導部はその対抗として少数民族の強制移住第一号として遠く離れたウズベキスタンなどにコリヨ人を送ったというのだ。

【非核五項目】  
 ①全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める②国とされる非核三原則を厳守する③日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。④国家補償による被害者援護法を制定する。⑤原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

過去に、日本政府が「棄兵・棄民政策」をとる、兵士を「国体護持」のためにソ連に引き渡したことは消えることのない歴史の事実。そしてスターリンたちも日本の諜報活動におびえ、コリヨ人を数千キロ位移動させた。これもまた「棄民政策」だ。歴史のこの事実を検証することは戦争を単に過去のものとせず、これからの

平和のために活かしていくことにつながるはずだ。

前置きが長くなった。さあ旅はタシケントの西方の古都、サマルカンドの世界遺産建築物群より始まる。タシケント駅よりスペイン製の新幹線に乗っていざサマルカンドへ。  
へつづく／日本コリア協会・大阪 飯田光徳

\*\*\*\*\*

非核と科学 No.13.



原発と原爆の同異(8)

— 原発の原理 (その4) 松山奉史

核分裂反応が連鎖的に進行するためにはU-235の量が臨界量というものが(本誌188号)、原爆(純粋金属ウランと高速中性子との組合せ)の場合については本誌190号で触れました。一方、原発は燃料に酸化ウランUO<sub>2</sub>を用い、そこにU-235が約3%含まれ、反応に与るnは熱中性子なのですが、連鎖反応(式1、本誌186号)

が継続するためにはやはり臨界量が必要です。BWRの場合なら燃料集合体10体前後が臨界量だそうです。電気出力100万KWのBWRは燃料集合体を700体以上炉心に装荷(本誌191号)していますから、100万KW級原発とは多数のミニ原子炉の集まりであるといえます。

ところで、原発の安全性を確保することは原子核エネルギーの民生利用を謳う限りは絶対に必要なことで、その基本は大量に発生する放射能を原子炉内に確実に閉じ込めることに尽きます。しかしながら残念ながらことに、チェルノブイリ原発事故や福島第一原発事故が起きてしまい大量の放射能を撒き散らしてしまいました。これらの事故は、原子炉内に放射能を完全に閉じ込めるといって完成した技術を人類はまだ手に入れていないことの証明です。その上人類は使用済燃料を始末するシステムも未だに

開発できないままでいるのですから、核反応を制御せず放射能をただばら撒くだけの原爆技術は原爆技術に比べてはるかに容易なものであるのです。換言すれば、原発はまだ未完成的な技術の上に利用が進んでいるというのが現在の姿であり、この点が原発の本質的な弱点となつていいため、いくら原発は安全だと宣伝されても簡単にはぬぐい切れない社会的不安の原因になつていと思われまふ。原発が上述したミニ原子炉規模であったならもつとコントロールし易いのではないかと想像しますが、経済優先の大型化がとんだらでもない失敗をもたらしたといえそうです。

原発に対する不安としてもう一つよく出される質問があります。“事故時に原発は核爆発することはないのか?”というものです。この質問をする人の中にはチェルノブイリ事故や福島第一事故で発生した水蒸気爆発や水

素爆発を核爆発であると誤解している人もいます。この質問に対して筆者は充分な知識を持つていなければなりませんので、専門家がU-235の密度や原子炉の構造を踏まえて述べている見解を紹介いたしますと、“原発は原理的に核爆発は起こせない”ということのようです。確かに、原発による核爆発の報告はこれまで聞いたことがありませんし、もしチェルノブイリや福島第一での爆発が核爆発であったとしたら、恐らく建屋の屋根が壊れる程度の爆発では済まなかつたように思います。

原発で電気出力100万KWといえれば熱出力では約300万KWに相当します。最後になりましたが、このエネルギーがどれほど大きいかを知っておくことは、意外無駄でもないように思います。計算してみると、体積1立方メートル(重量約1トン)の水(0℃)をたった1秒で100℃の水蒸気に変

えてしまうほどの大きさです。これはとても大きなエネルギーであると思うのですが、福島で同規模原発が膨大な放射能を撒き散らした事故の記憶が強すぎて、この例は熱エネルギーの大きさをイメージする手助けとしては少し弱すぎるかも知れません。

“（原発と原爆の同異）は今回をもって完とさせていただきます。”  
【訂正】 第193号3ページ3段目の3行目…… K192…… K192……



新任世話人に就任しました

大阪府立高等学校教職員組合 斉藤優

19才の時、ベトナム戦争帰還兵のアレン・ネルソンさんの講演を聞き、英語学習が苦痛だった私は、アレンさんの語る言葉に心が突き動かされるという体験をしました。それがきっかけで英語の教員の仕事に就きました。学生になつてからは原水禁大会や平和大会などに参加し、社会人1年目には仲間

とともに、日本軍の蛮行によって深い傷を負った韓国のハルモニ達に会いに行く旅をしようとして、初めてナムの家を訪れました。その後も沖縄、台湾、中国などに繰り返し行きましたが、実際に自分の目で見て、現地の人と触れ合うことが好きです。私は小中学校時代、平和学習感想文の結びに「絶対に戦争はしてはいけません」とよく書いていました。今の子どもたちも同じです。授業で、悲惨な経験をしているアフリカの少年兵の番組を見せると、「平和が一番大切だと思ふ」。「今の自分は恵まれてるんだから、感謝したいといけない」などの感想を生徒は言います。ここで終わってはいけません。紛争・戦争の要因に何があるのか、それと日本はどうかかわっているのか、日本の自分たちには何をすべきなのか、といったことを生徒たちと一緒に考えていく。そんな授業をしなければと思つていきます。

宗

シリーズ No.13

教者と非核平和

宗 教主と非核平和  
主よ、わたしをあなたの  
平和の道具としてお使い  
ください。

カトリック平野教会  
大林一郎(在世フラン  
シスコ会)

18歳ぐらいから平  
和について興味を持ち  
はじめて、若い人達が  
集まる会合に参加しな  
がら、ビキニデーや原  
水禁世界大会の平和を  
求めるデモに参加して  
いました。

ちょうどこの頃から、  
うたごえ運動にも参加  
しました。

私がキリスト者とし  
て関わるようになった  
のは、洗礼を受けてか  
らなんです、それも  
大阪宗教者平和協議会



画を撮ら  
れたりし  
てます。  
「私たち  
このまま  
で行くと  
殉教や  
ね」って

で頑張っておられた松  
浦司教、吉岡神父と釜  
ヶ崎で労働者のミサを  
されてる本田神父の影  
響をかなり受けたから  
です。

司教さんや神父さん  
が、住職さんはじめ仏  
教の人達も宗教や教団  
の垣根を越えて平和や  
命を大切にしたい思い  
が一つになりみんな  
行動する。なんて素晴  
らしい事でしょう。  
私は思いは単純です。  
イエス・キリストの福  
音を生きているだけな  
んです。

平和デモの帰りに定  
番の店に行き、今の日  
本の現状や将来のこと  
をざっくりばらんに信徒  
どうして話します。  
共謀罪法や秘密保護法、  
戦争法などの前代未聞  
の悪法が通るなか、最  
近のデモでは露骨に動

話もですが、それで  
も止めません。

フランシスコ教皇は  
「行いが伴わないなら、  
信仰はそれだけで死ん  
だものです」

あいちトリエンナー  
レ『表現の不自由展』  
中止決定や神戸にシン  
ポジウム『アートは異  
物を受け入れるのか』  
の中止には、表現の自  
由を脅かし先の戦争を  
美化し、都合の悪い歴  
史は抹殺する軍国主義  
のキナ臭い道を再び歩  
ましてはならないで  
す。

今の私たちは戦前と  
は違い投票できる権利  
を持つています。戦争  
する国にするか、憲法  
9条を守り平和の日本  
を続けるのかの権利を  
一人ひとりが持つてい  
ます。

今こそその権利を行  
使するときです。  
もちろん投票先はよく  
吟味しないとアカンで  
すよ。  
簡単な話なんです  
が「誰が徳をして誰が  
損するか」ですよ。

ずいぶん前に、確か  
小学生の投稿が新聞に  
載ってました。

「無敵って戦う相手が  
いないほど強いんでな  
くて、みんなと仲良く  
して戦う敵がないの  
を無敵って言うんだ」  
って、私もそんな差別  
も貧困も戦争もない世  
界を望みます。

音

楽と反核・平和  
(No. 2)

これからは私の「うた  
ごえ人生」の歩みの中  
で歌った反核平和の歌を  
振り返ってみたい。プ  
ロ・アマを問わず沢山の  
歌が創られているが、私  
が歩んだ道の中で出会  
った歌や運動の歩みを  
紹介したい。

○うたごえ運動と「原爆  
許すまじ」

歌好きな私がたまた  
ま就職した職場が音楽  
が盛んで、誘われるまま  
に武道館での「日本のう  
たごえ祭典」に参加した  
ことが「うたごえ運動」  
との出会いである。祭典  
で歌われている歌は唱  
歌や流行歌の類ではな

く、労働の中での喜び、  
悲しみ、闘いを創作して  
歌ったり、まだ返還され  
てなかった沖繩から数  
人の代表団が「一坪たり  
とも渡すまい」を歌い沖  
縄返還を訴えていたこ  
とが衝撃的だった。私の  
知らない職場である、教  
育・国鉄・私鉄・金属・  
自動車・紡績・医療・郵  
便・電通・港湾・日雇

などの現場で生まれた  
歌が鉢巻を閉めたり時  
にはスクラムを組んで  
力強く合唱されていた。  
学校を卒業したばかり  
の私には違和感があっ  
たが、知らない世界に飛  
び込んで目の前が大き  
く開けたような感動が  
あった。労働のこと、平  
和のこと、生き方のこと  
等々考え学ぶ場となっ  
た。ただ有名歌手が歌う  
歌ではなく、歌が「平和  
の力」「生きる力」「闘  
う力」となることをおぼ  
ろげ乍ら感じるものが  
出来た。こういう平和で  
健康なうたごえを広げ  
ていく運動が「うたごえ  
運動」だと知ったのであ  
る。

「うたごえ運動」は著

名なソプラノ歌手だっ  
た「関 鑑子」さんが軍  
歌しか歌えない時代が  
再び来ないよう「うたご  
え」で平和の砦を作ろう  
とはじめられた。すると  
瞬く間に全国に合唱団  
が誕生した。「うたごえ  
は平和の力」と言う合言  
葉が広がり、創作はうた  
ごえの機関車として  
様々な闘いやねがいと  
共に次々と歌が創られ  
た。そんななかで原水爆  
禁止の運動と共に創ら  
れたのが「原爆許すま  
じ」であり瞬く間に全国  
に広がり、1957年モ  
スクワで開かれた世界  
青年平和友好祭に日本  
からうたごえ代表団が  
送られた時には「原爆許  
すまじ」が世界の言語に  
訳されて歌われた。反核  
を願う日本の歌がまさ  
に世界中に広がった瞬  
間である。こんな活動の  
中で「うたごえ運動」を  
指導した関鑑子さんが  
レーニン平和賞を受賞  
された。

大阪のうたごえ協議会  
立川孝信



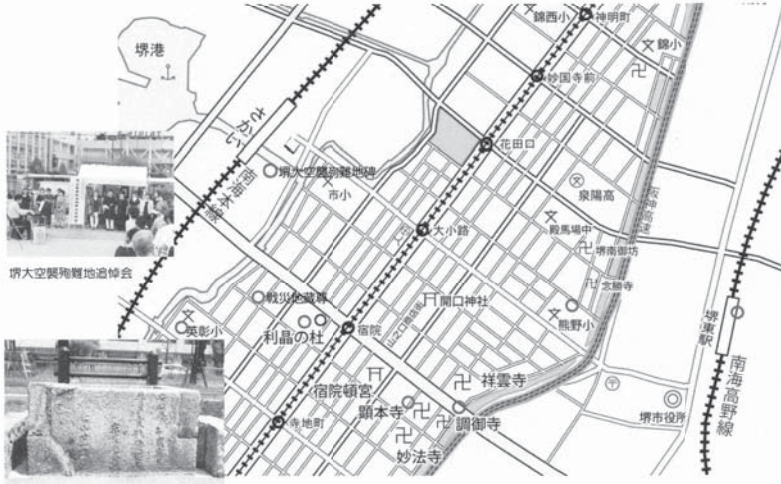
戦争の傷あとめぐり第2シリーズ 戦跡ウォーク第5回

# ピースウォッチング 堺を歩こう

## 11月9日(土) 13:30~16:30

集合：南海本線さかい駅 東側階段下

主なコース 堺駅前～堺大空襲殉難地碑～神明神社～戦災地蔵尊～英彰小学校～  
利晶の杜～顕本寺～調御寺～(熊野小学校)～堺市役所21階 古墳群眺望～南海高野線堺東駅



国道に残る調御寺井戸枠

☆1944年、堺市は空襲にそなえて「建物疎開」を実施しました。宿院頓宮(御旅所)や卯の日座や電気館、大商家の連なる中心市街地だった宿院筋の両側も強制撤去されますが、大空襲でまちの全域が被災。戦後の区画整理で50mのフェニックス通りとなっています。

☆1934年の室戸台風で、旧堺市の学校の児童や校舎に大きな被害があり、階段部分だけは鉄筋にして風水害や空襲に備えました。1945年堺大空襲に耐えた英彰小学校の階段室を保存、平和学習の場としています。

☆顕本寺は、室町幕府を一時崩壊させた「堺幕府」が5年置かれたとされ、江戸時代初めの流行歌とも言える高三隆達の「陸連節」の屏風が伝わっています。その巻頭の歌が『君が代』のルーツとして注目されています。

☆調御寺は、顕本寺と並び建つ14世紀からの名刹でしたが、堺大空襲で門だけを残して全焼。戦後の区画整理で寺地の9割を奪われました。国道歩道に残る井戸枠が大寺院だった昔を偲ばせます。2018年3月、堺市観光推進課によって説明パネル板設置が実現しました。

(ガイド 大阪歴史教育堺支部 堺平和のための戦争展事務局 小松清生さん)

※参加費は無料です。(交通費は各自でお願いします。) 尚、小雨は実施します。参加ご希望の方は資料の準備がありますので、下記まで連絡をお願いします。

主催：非核の政府を求める大阪の会

☎06-6765-3032 FAX:06-6765-3033  
mail:hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp

堺駅には、南海電鉄・南海本線 難波駅から急行・区間急行・準急で10分、普通で15分。5番～8番ホームより乗車。難波駅→堺駅 260円

## 非核・平和の

## とりくみ掲示板

□ ノーモアヒバクシャ訴訟

＊11月22日(金) 13:10～  
大阪地裁判決(地裁1007)  
報告集会「北浜ビジネス会館」  
3階301会議室

※事前集会 12:20頃、入廷行進  
＊12月24日(火) 13:30～  
大阪高裁(高裁81号法廷)

□ 「秋の憲法大学習会」

＊11月23日(土) 14:00～  
大阪クリスチャンセンターホール  
(JR環状線「玉造」徒歩5分)  
講師：小森陽一さん(九条の会)  
講演：「新たな情勢の下での  
改憲阻止の展望」

参加協力費：500円

主催：大阪憲法会議・共同センター

□ 「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」代表者会議

＊12月3日(火) 14:00～  
大阪弁護士会館11階1109号

□ 軍隊を捨てた国コスタリカ憲法から学ぶ「ロベルト・サモラ弁護士講演会」

＊12月3日(火) 18:30～  
エル・おおさか7階709号

□ 非核の会近畿交流会

＊12月7日(土) 13:30～  
場所：奈良市内

👉 いま、核兵器禁止に世界は大きく動き出しています

# 2020年原水爆禁止世界大会 in ニューヨーク

## & NPT再検討会議を成功させよう!

- ◆4月23日 代表団はニューヨークに全員集合します
- ◆4月24日、25日 「原水爆禁止世界大会 in ニューヨーク」マンハッタン行進、ヒバクシャ国際署名共同提出行動
- ◆4月27日 NPT再検討会議開会(国連)
- ◆4月28日 現地出発(基本コースは翌日日本帰国)  
※ワシントンコース、ボストンコース(5月1日帰国)  
※ボストンコース、(5月2日帰国)  
※トロントコース、バッファローコース(5月1日帰国)  
その他サンフランシスココース、シカゴコースなど  
詳細は大阪原水協にお問い合わせください(06-6765-2552)



▲「2015年NPTニューヨーク行動」

非核の政府を求める大阪の会は  
常任世話人の西谷文和さんを  
代表派遣することに決定しました